



アジア・太平洋YMCA同盟 気候変動カンファレンス

World YMCA NEWS

2018
1

気候変動に関するユース宣言

-アジア・太平洋YMCA同盟 (韓国・大邱)^{テグ}

10月10日～20日に韓国・大邱（テグ）で行われたアジア太平洋YMCA「気候変動カンファレンス」にバングラデシュ、カンボジア、日本、韓国、ミャンマー、モンゴル、台湾、フィリピンの8カ国から16名のチェンジ・エージェント*らが集い、「気候変動への関心と責任を持つ市民としてのビジョン」を作成しました。

カンファレンスでは、『パリ協定』や「気候変動が私たちの生活にもたらす影響」について多くの学びを得ました。また、気候変動とジェンダー、食料や水資源の確保、SDGs、ツーリズムなどについての話し合いや、ウォーター・フットプリント(製品などのライフサイクル全体で使用される水の数値化)という新しいコンセプトについても知りました。また、フィールドトリップでは、私たち人間による活動が長期に渡って環境に及ぼす影響を、人間のみならず地球上の他の生物の視点からもしっかりと考えるべきだとの考えが示されました。思いました。

これらのことを知るだけでなく、課題の解決に向けて行動することが大切です。参加者たちは以下のことがらを個人、家族、そして地域で実践することを社会にアピールします。

- A) ゴミの仕分けやリサイクルの実践
- B) エネルギーや水を大切に使う
- C) 気候変動に関する教育や広報の推進
- D) 環境に優しいライフスタイルの実践（肉を食べない日、ビニールを使わない日など）

またそれぞれの国では以下のことがらに取りくむこととしました。

- A) 若者が気候変動と環境について学ぶ機会をつくる
- B) 各国のYMCAで環境について取り組む「グリーン・チーム」を組織する

また、アジア・太平洋YMCA同盟が各国YMCA同盟とその加盟YMCAに対して、継続的に気候変動についての教育を行うことを提案しました。アジア・太平洋YMCA同盟が実施している『環境と気候変動についてのE-Learning』も特にユースエンパワメントの取り組みの一つとして活用されることを期待します。各国のYMCAでも、積極的に環境と気候変動についてのプログラムが実施されることも強く望んでいます。

気候変動は、人々が今後更に関心を寄せ取り組んでいく必要がある緊急の課題です。力強い若者の団体であるYMCAとして、理想を実際の行動へと導き、アジア太平洋地域のYMCAが連帯してこの課題に取り組むことが期待されます。むべきです。

◆チェンジエージェント…世界YMCA同盟によるユース育成プログラムとその参加者の呼称。変革の担い手として各国より選ばれ、定期的に研修を受けることで研鑽をつむ。地域や社会での活躍が期待されている。

アジア・太平洋YMCA同盟ホームページより
http://www.asiapacificymca.org/joomla/index.php?option=com_acymailing&ctrl=archive&task=view&listid=1-mailinglist&mailid=123-apay-e-news-october-

Bounce Appeal 「跳ねる」募金 (Bounce=跳ねる) -ニュージーランドYMCA



ニュージーランド南島のカンタベリー地方の町、ティマルのYMCAでは、今年の年末にかけてゴムボールを使った「跳ねる」募金に取り組んでいます。この募金は地元の若者たちを対象にした非行やストレス予防対策プログラムの普及に用いられます。

このプログラムは1年半前に開発されたもので、インターネット犯罪、精神的ストレス、人間関係、ドラッグやお酒などから、どのように自分の身を守るかを学びます。このプログラムを近隣の9つの高校で実施しています。今回の募金活動はこの大切な働きを支えるためものです。

この「跳ねる」募金活動は、このプログラムが若者たちの様々なリスクを「Bounce Back=跳ね除ける」ということをより多くの人に伝えたいという願いから発想しました。1月下旬にはティマルの各所の街頭での募金拠点を設けてBounce Street Appealとしてアピールしました。町の中心部には誰でも遊ぶことができるトランボリンも設置しました。5,000ニュージーランド・ドル(約40万円)を集める目標です。

年末までには地域の2300人の中高生が7時間のコースを受講し、ストレスマネジメント、より良い人間関係、アルコールやドラッグについての判断力、ソーシャルメディアやインターネットに関する知識などを身につける予定です。

来年には他の地域の学校へも活動を広げる計画です。このプログラムには政府からの助成金はありませんが、地域からの支援の他、宝くじ他の助成団体からの支援によって成り立っています。

ニュージーランド・カンタベリーYMCA Facebook

2017年11月24日記事

https://www.facebook.com/YMCASouthandMidCanterbury/?hc_ref=ARTWY5p64mx4kKXFZ_A9Ww_20e6sudRRBUOL5NU33vtBtlmq3jp8SEF9POLRYwcQ8M8&fref=nf

南極に出来た新しいYMCA -アルゼンチンYMCA

アルゼンチンに新しいYMCAが誕生しました。

アルゼンチン空軍や政府南極探査に取り組むアルゼンチン政府との共同プロジェクトとして、南極にあるアルゼンチンのマランビオ基地のちょうど中央に、60平方メートルのYMCAジムが設置されました。第48期隊の隊長や従属医との連携も万全です。

11月9日～11日にアルゼンチンYMCA同盟総主事のノルベルト・ロドリゲス総主事がマランビオ基地を訪れました。

滞在期間中には、アルゼンチン空軍が1年ごとに行う南極隊員交代式も実施され、YMCAも歓待を受けました。

アルゼンチンYMCAは地球上でも、もっとも過酷な場所で働く人々に寄り添い、その価値を伝えることとなります。YMCA史上初の南極にあるYMCAは、今後は他の基地にも広がっていくかもしれません。

世界YMCA同盟ホームページより

<http://www.ymca.int/ymca-opens-antarctica/>



南極基地でYMCAがオープン
アルゼンチンYMCA同盟総主事 ノルベルト・ロドリゲス氏 (写真左)

World
YMCA
NEWS
2018.1

発行

2018年1月1日

日本YMCA同盟

03-5367-6640

info@ymcajapan.org